

公益財団法人大学コンソーシアム京都

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 吉田美喜夫

2 所在地

京都市下京区西洞院通塩小路下ル東塩小路町 939 番地

3 電話番号

075-353-9100

4 ホームページアドレス

<http://www.consortium.or.jp/>

5 設立年月日

平成10年3月19日

6 基本財産

100,000千円（うち本市出えん額 50,000千円，出えん率 50.0%）

7 事業目的

京都地域を中心に，大学間連携と相互協力を図り，加盟する大学・短期大学の教育・学術研究水準の向上を目指すとともに，学生の成長を促進するための学生支援，大学の国際化を推進するための国際連携・国際交流等の充実に努める。併せて，地域社会，行政及び産業界との連携を促進し，地域の発展と活性化に努め，京都地域を中心とした高等教育の発展と国際社会をリードする人材の育成を目指す。そのために，多様な連携に基づく教育，学生支援，研修，調査・研究，情報収集，情報発信，交流促進等を行い，日本の高等教育の発展に寄与することを目的とする。

8 業務内容

- (1) 単位互換，インターンシップ等の教育に関する企画調整事業
- (2) 学生に対する支援事業
- (3) 教職員に対する研修交流事業
- (4) 国際連携，国際交流事業
- (5) 大学と高等学校等との連携による企画調整事業
- (6) 大学と地域社会，行政及び産業界との連携による調査研究事業
- (7) 大学と地域社会，行政及び産業界との情報発信交流事業
- (8) 大学と地域社会，行政及び産業界との連携等による生涯学習事業
- (9) 全国各組織との連携による企画調整事業
- (10) その他目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

総合企画局総合政策室（TEL075-222-3103）

10 役員名等

(1) 理事長

吉田美喜夫

(2) 副理事長

大城光正，松岡敬

(3) 専務理事

桂良彦

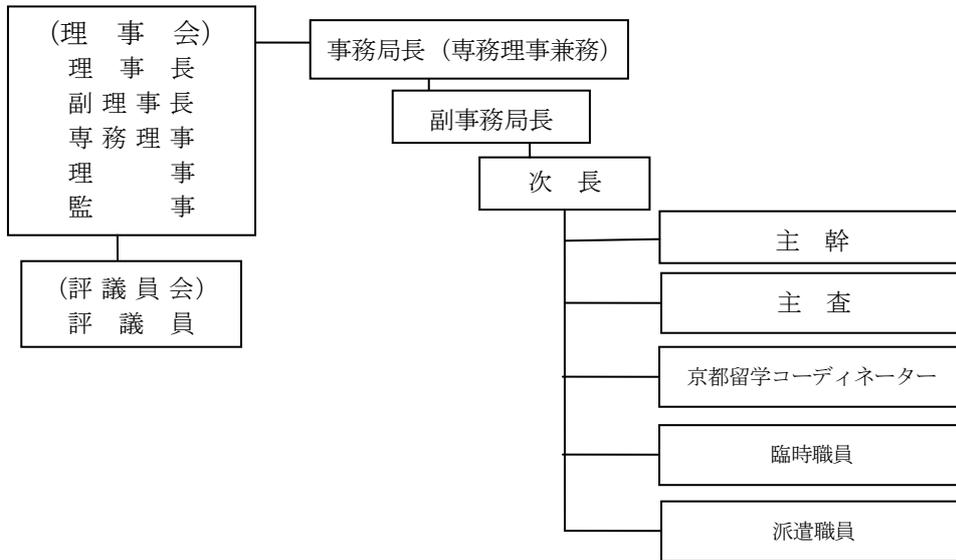
(4) 理事

藤井純一，松田武，鷺田清一，竹宮恵子，入澤崇，藤原正行（総合企画局長）

(5) 監事

足立好弘，和田一郎

- 11 常勤職員数
47人（うち本市派遣職員3人）
- 12 組織機構



第2 経営状況

1 平成28年度決算

(1) 事業報告

ア 教育事業

(ア) 単位互換事業

- a 包括協定大学数 48 大学
- b 提供科目 457 科目
- c 履修者数 3,120 人

(イ) 生涯学習事業（京カレッジ）

- a 科目提供大学数 31 大学 2 機関
- b 提供科目数 314 科目
- c 出願者 延べ1,610 人

イ インターンシップ事業

(ア) インターンシップ事業

- a ビジネス・パブリックコース
(受入登録団体 221 団体, 出願者数 458 人, 受講者数 360 人)
- b プロGRESSコース (受入登録団体 17 団体, 出願者数 66 人, 受講者数 61 人)

ウ 教育開発事業

(ア) FD（ファカルティ・ディベロップメント）フォーラム事業

- a 第22回FDフォーラム（3月4日、3月5日、テーマ「大学の教育力を発信する」於：京都コンサートホール・稲盛記念会館, 参加者数 797 人）
- b 京都FD執行部塾
6月25日, 参加者数 39 人
- c 京都FDer塾×大学教育パワーアップセミナー合同企画（1月21日、テーマ「教育の質保証について考える」於：キャンパスプラザ京都, 参加者数 99 人）
- d 新任教員FD合同研修（9月17・18日, 参加者数 18 人, 3月11・12日, 参加者数 13 人）
- e 教育IRフォーラム（7月30日、テーマ「変革する大学！「学修成果の可視化」から教

- 育・授業を変える」, 参加者数 190 名)
- (イ) SD (スタッフ・ディベロップメント) 事業
- a 大学職員共同研修プログラム (計 5 回, 参加者数延べ 110 人)
 - b 第 14 回 SD フォーラム (10 月 23 日, テーマ:「大学職員の「専門性」を考える」, 参加者数 205 人)
 - c SD ワークショップ 2016 (計 3 回, 参加者数 延べ 29 人)
 - d 「大学職員向け研修」説明会 (3 月 8 日, 参加者数 13 人)
- (ウ) 京都高大連携研究協議会の運営
- a 「第 14 回高大連携教育フォーラム」(12 月 10 日, テーマ:いま, なぜ入試改革か?～教育改革のゆくえを探る～, 於:キャンパスプラザ京都, 参加者数 143 人)
 - b 高大連携フューチャーセッション (3 月 19 日, 於:福知山公立大学, 参加者数 23 名)
 - c キャリア教育企画 (まるっとく・ガールズキャリアトーク) (計 5 回, 参加者数延べ 150 名)
- エ 学生交流事業
- (ア) 第 14 回京都学生祭典
(10 月 9 日, 来場者数:約 12 万 7,000 人 ※実行委員会調べ)
- (イ) 第 19 回京都国際学生映画祭
(11 月 26 日～12 月 2 日, 応募作品 539 本[国内 167 作品・海外 372 作品],
来場者数延べ 540 人 ※実行委員会調べ)
- (ウ) 障害学生支援事業
- a 第 17 回関西障害学生支援担当者懇談会 (9 月 15 日実施, 参加者 70 人)
 - b 第 18 回関西障害学生支援担当者懇談会 (2 月 16 日実施, 参加者 61 人)
 - c ノートテイクナー養成講座 (初級編) (9 月 16 日実施, 参加者 47 人)
 - d パソコン (PC) テイクナー養成講座 (初級編) (3 月 24 日実施, 参加者 30 人)
- オ 国際連携事業
- (ア) 龍谷大学メルボルン短期留学プログラム (17 人)
 - (イ) TOEFL 講座の実施 (41 人), IELTS 講座の実施 (47 人)
 - (ウ) 英語で京都をプレゼンテーション (20 人)
 - (エ) 短期留学生受入プログラムの実施 (夏期 17 人, 冬期 19 人)
 - (オ) 大学職員対象英語研修プログラム開発及び実施 (計 6 回, 延べ 91 人)
 - (カ) 京都地域留学生住宅保証事業・支援事業 (35 人)
 - (キ) 留学生スタディ京都ネットワーク事業 (年度末加盟数 90 機関)
 - (ク) 留学生就職支援・交流コミュニティ運営事業 (年度末会員数 140 人)
- カ 調査・広報事業
- (ア) 調査事業
- a 大学のまち京都・学生のまち京都推進会議 (2 月 7 日, 3 月 25 日実施)
 - b 京都 B&S (ブラザー&シスター) プログラム (23 校・3,064 名)
 - c 指定調査課題
 - (a) 平成 28 年度指定調査課題推進
加盟校所属の教職員による調査研究 (1 件) を実施するとともに, 調査研究成果の
報告会及び交流会を実施 (3 月 22 日実施, 成果報告会参加者 71 名, 交流会 30 名)
 - (b) 平成 29 年度指定調査課題 課題策定・研究者選考
 - d 「共通指標」に基づく財団基礎データの収集を開始
- (イ) 広報事業
- a 財団ホームページ・Facebook による情報発信
 - b 京都学生広報部の専用 WEB サイト「コトカレ」による情報発信
 - c 定期刊行物の発信

会報の発刊（年1回）、Informationの発刊（年1回）

d 「学生のまち京都映像コンテスト」

総務省（近畿総合通信局）と京都市との協働により、「大学のまち・学生のまち京都」の魅力発信と、ICT技術の若者への普及・推進を目的に実施（応募件数：学生部門7件、一般部門1件、受賞件数（学生の部）：最優秀賞1件、優秀賞1件、特別賞1件）

e 財団広報ワーキンググループ

財団内各事業部からの選抜メンバーにより、新規事業の企画や既存事業の改善、見直しを行える仕組みを構築

(ウ) 都市政策研究事業等

a 京都から発信する政策研究交流大会

（口頭発表65組、パネル発表18組、その他（行政パネル展示）7組、参加者423名）

b 学まちコラボ事業

京都市との協働により、大学と地域が連携する取組に助成金を交付

（応募30件、採択18件）

c 「学まち連携大学」促進事業

京都市との協働により、地域と連携しつつ学生が学ぶ機会を創出する大学組織としての取組に助成金を交付（申請11大学、採択6大学）

d 大学・地域連携サミット（愛称：学×地リンク）

京都市との協働により、各大学における地域連携の事例や、学まちコラボ事業、区役所のまちづくり支援事業での取組を広く発信する事業（参加者：約130人）

e 「大学の知」を活かした多角的な市政研究事業

京都市との協働により、「未来の京都創造研究事業」の後継事業として、「文化を活かした京都の活性化」について、4つの分野別テーマを研究する複数のユニットから成る研究グループが多角的な観点から分析・考察を実施

キ 総務事業

(ア) 全国大学コンソーシアム協議会事務局運営

a 第13回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催・運営

於：エリザベト音楽大学、広島国際大学広島キャンパス（9月10・11日、参加者319人）

テーマ「大学連携によるグローバル人材育成」

b 協議会運営委員会の運営（3回）、幹事会（2回）、総会（1回）

c 協議会の組織管理と経理処理

d 第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの準備

(イ) 勤労学生援助会事務局運営

a 理事会・総会（1回）、選考委員会（1回）の開催

b 表彰・奨学金贈呈式（18大学・短大の18名を表彰）

(ウ) 公益財団法人組織運営

a 理事会（5回）、評議員会（4回）、会員総会（1回）開催

b 財団資料の作成（事業概要等）

(エ) 施設管理運営

a 京都市大学のまち交流センターの指定管理

b 京都市大学のまち交流センター6階「大学院等共同サテライト拠点」の管理運営

(2) 財務諸表

貸借対照表
平成29年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	167,540	130,467	37,073
未収金	35,885	46,056	△10,171
立替金	400	2,053	△1,652
前払費用	562	631	△69
仮払金	10	0	10
流動資産合計	[204,397]	[179,206]	[25,191]
2. 固定資産			
(基本財産)			0
基本財産普通預金	405	405	0
基本財産投資有価証券	100,000	100,000	0
基本財産合計	(100,405)	(100,405)	(0)
(特定資産)			
財団拡充普通預金	11,908	11,908	0
留学生支援事業積立金	24,000	30,000	△6,000
教育設備・機器等整備普通預金	17,742	20,713	△2,970
財団拡充投資有価証券	30,000	30,000	0
教育設備・機器等整備有価証券	30,000	30,000	0
特定資産合計	(113,650)	(122,620)	(△8,970)
(その他固定資産)			
構築物	419	835	△416
設備造作	1,555	1,593	△38
什器備品	22,354	30,526	△8,171
無形固定資産	5,866	2,903	2,963
投資有価証券	20,000	20,000	0
その他固定資産合計	(50,195)	(55,856)	(△5,662)
固定資産合計	[264,250]	[278,882]	[△14,632]
資産合計	468,647	458,088	10,559
II. 負債の部			
1. 流動負債			
リース債務	6,018	2,062	3,957
未払金	28,073	35,952	△7,879
前受金	44	100	△56
社会保険料預り金	765	845	△80
源泉所得税預り金	281	278	3
住民税預り金	305	298	6
仮受金	229	0	229
流動負債合計	[35,715]	[39,535]	[△3,820]
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,279	3,888	391
固定負債合計	[4,279]	[3,888]	[391]
負債合計	39,994	43,423	△3,429
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[100,405]	[100,405]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(100,405)	(100,405)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[328,248]	[314,260]	[13,988]
(うち特定資産への充当額)	(113,650)	(122,620)	(△8,970)
正味財産合計	428,653	414,665	13,988
負債及び正味財産合計	468,647	458,088	10,559

正味財産増減計算書
平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	205	150	55
特定資産運用益	1	90	△89
その他資産運用益	0	164	△164
受取会費	165,509	164,886	623
事業収益	42,722	62,299	△19,577
指定管理者事業収益	170,674	170,674	0
受取補助金等	935	900	35
受取運営分担金	40,497	19,263	21,234
雑収益	292	71	221
経常収益計	420,835	418,497	2,338
(2) 経常費用			
事業費	379,259	373,430	5,828
管理費	27,588	25,444	2,144
経常費用計	406,847	398,875	7,972
当期経常増減額	13,988	19,622	△5,634
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	13,988	19,622	△5,634
一般正味財産期首残高	314,260	294,638	19,622
一般正味財産期末残高	328,248	314,260	13,988
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,405	100,405	0
指定正味財産期末残高	100,405	100,405	0
III. 正味財産期末残高	428,653	414,665	13,988

2 平成 29 年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 教育事業

(ア) 単位互換事業

量から質への転換を進めており、平成 27 年度に開講した「京都世界遺産 PBL 科目」への学生参加と更なる科目提供の増加に向けて、学び効果や世界遺産側の課題解決効果の客観化等に努める。

(イ) 生涯学習事業

京カレッジでの市民の学習機会の更なる提供と加盟大学による各種生涯学習事業等への参加機会を促進するため、大学リレー講座の充実を行う。

(ウ) インターンシップ事業

大学と連携した学生参加促進や単位認定大学の拡大、コーディネータの安定的確保と必要な規約整備を行う等、質的改善の促進を図る。

イ 教育開発事業

(ア) FD 事業

加盟大学を中心とした相互交流や情報共有によるシナジー効果を重視した事業を推進する。FD フォーラム企画検討、FD 企画研究の 2 委員会の協力・連携を進め、それぞれの事業で培ってきた経験やノウハウを情報共有し、互いの事業に生かすことを意識する。

(イ) SD 事業

大学職員共同研修プログラム、SD フォーラム、SD セミナールを実施する。スケールメリットを生かして、スキルアップや知識の習得はもちろん、人的交流も積極的に行っていく。

(ウ) 京都高大連携研究協議会事業

a 高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における国内最新動向の情報共有、事例研究や京都における取組の情報発信に一定の評価を得ていると認識しており、今後は大学関係者と高校関係者の交流促進企画を実施するなど、更なる充実を図る。

b 京都府内生徒向けキャリア教育

「まるっと一く」として実施。実施要件を明確にし内容を一定程度パッケージ化しつつも、高校のニーズや地域の実態に即しながら柔軟に対応し、高校の枠を越え複数校や地域での合同開催を目指す。

c 女子生徒・学生向けキャリア教育

女子生徒・学生に限定せず男女共同参画の視点から企画内容を検討し、男女お互いの視線を意識しながら、今後のキャリアを考えるきっかけとなるような企画にシフトしていく。

ウ 学生交流事業

(ア) 京都学生祭典

「学生のまち京都」ならではの学生の力を集結させ、京都の地域活性と「大学のまち京都」を全国に発信することを目的に、第 15 回京都学生祭典を 10 月 8 日に開催する。京都学生祭典の企画・運営は学生による実行委員会が担い、行政、経済界、大学、地域が連携した組織委員会が「オール京都」体制で支援していく。また年間を通じ、「京炎 そでふれ！」を通じた地域交流や国際交流、また第 15 回の節目を記念する「15th アニバーサリーフェスタ」に取り組む。

(イ) 京都国際学生映画祭

京都から、学生映画監督の発掘と国際的な映画人材の交流、映画文化の発信を目的に、第 20 回京都国際学生映画祭を 11 月に開催する。学生による実行委員会が、映画に詳しい大学教員や実務家からのアドバイスを受けながら、コンペティション募集による入選作品の選定、映画祭での上映、授賞式でのグランプリ作品の表彰までの祭全体の企画・運営を行う。

(ウ) 障害学生支援事業

「障害者差別解消法」の施行を受け、各大学における障害学生支援担当者のネットワークを構築するため、「関西障害学生支援担当者懇談会」を年2回開催し、担当者同士が意見交換を行える場を創出する。また、学生へは、聴覚障害学生の情報保障の一つであるノートテイク、PCテイクの理解やスキル向上を目的に、ノートテイク養成講座、パソコン(PC)テイク養成講座を提供する。

エ 国際事業

(ア) 国際連携事業

a 学生派遣プログラム

既存の協定関係をいかして短期派遣プログラム(メルボルン)を実施する。

b 英語で京都をプレゼンテーション

京都の奥深い魅力を体験し、その魅力を英語で伝えられる能力を養成する研修を実施する。また、英語レベルが申込基準に至らないものの、学習意欲の高い学生を対象にした初中級クラスを増設する。

c 語学修得支援講座

交換留学等の語学要件を満たす語学力養成のため、TOEFLやIELTSの語学修得支援講座等を行い、加盟校学生の留学促進を目指す。

d 大学職員対象英語研修プログラム

大学のグローバル化に対応するため、教職員向けの英語研修を実施する。

(イ) 留学生スタディ京都ネットワーク

大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等によるオール京都の留学生誘致・推進体制「留学生スタディ京都ネットワーク」を運営する。

(ロ) 短期留学生受入事業

平成26年度に開発した英語による短期留学生受入プログラムを、京都市との協働により年2回(夏季・冬季)実施する。

(ハ) 京都地域留学生住宅保証事業・支援事業

京都地域における留学生受入支援のため、住宅支援事業を実施する。

(ニ) 留学生就職支援・交流コミュニティ運営事業

文部科学省からの採択を受け、留学生の就職及び交流を支援するコミュニティを運営する。

オ 調査・広報事業

(ア) 調査企画事業

平成27年度に作成した財団事業の実績を客観的に点検する共通指標を用いたデータの収集を開始しており、得られたデータを財団内、加盟校とも共有し、意見交換を行う資料とする。

(イ) 広報事業

ホームページのスムーズな更新処理やホームページアクセス解析の強化、Facebookの効果的な活用を図るとともに、財団事業関連ページと京都学生広報部による情報サイト「コトカレ」との連携を深め発信力を高める。

(ロ) 都市政策研究事業

a 京都から発信する政策研究交流大会

学生・大学院生に政策研究の成果発信の場を提供し、日頃の活動の成果の発表を通じて交流を深め、都市政策にいかすことを目的に開催する。

b 大学の知を活かした多角的な市政研究事業

京都ならではの大学の知を、京都市の政策・施策に反映するため、大学の研究者グループによる多角的な観点から調査研究を行う。

(エ) 地域連携事業

a 学まちコラボ事業

大学の知や学生の活力をいかした課題解決や地域活性化を目的として、大学と地域との連携による取組に対して助成金を交付する事業を実施する。

b 「学まち連携大学」促進事業

京都市内にキャンパスを有する大学を対象に、大学を挙げて地域と連携した教育プログラムを開発・実施する取組を支援する事業を実施する。

カ 総務事業

(ア) 全国大学コンソーシアム協議会事務局運営

第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催・運営（於：沖縄科学技術大学院大学，10月7・8日，テーマ「大学コンソーシアムとボランティア」）

(イ) 勤労学生援助会事務局運営

15大学・短大15名を表彰予定

(ウ) 公益財団法人組織運営

安定的な財団運営を目指す。

(エ) 施設管理運営

京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）の指定管理者として、適正な施設管理・運営を行い、京都市とも連携しながら利便性と稼働率の向上に取り組む。

(2) 予算

正味財産増減予算書
平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	205	205	0
特定資産運用益	1	1	0
その他資産運用益	0	0	0
受取会費	165,509	165,509	0
事業収益	41,486	43,398	△1,911
指定管理者事業収益	170,674	170,674	0
受取補助金等	935	935	0
受取運営分担金	54,000	42,353	11,647
雑収益	367	367	△0
経常収益計	433,177	423,441	9,736
(2) 経常費用			
事業費	402,556	394,481	8,075
管理費	28,769	28,974	△205
経常費用計	431,325	423,455	7,870
当期経常増減額	1,852	△14	1,866
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,852	△14	1,866
一般正味財産期首残高	314,246	314,260	△14
一般正味財産期末残高	316,099	314,246	1,852
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,405	100,405	0
指定正味財産期末残高	100,405	100,405	0
III. 正味財産期末残高	416,504	414,651	1,852

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	394,027	418,497	420,835	433,177
	当期経常増減額	33,367	19,622	13,988	1,852
	当期正味財産増減額	28,808	19,622	13,988	1,852
貸借対照表	総資産	436,329	458,088	468,647	
	総負債	41,286	43,423	39,994	
	正味財産	395,043	414,665	428,653	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
委託料	大学のまち交流センター管理及び事業 (指定管理)	176,756	170,674	170,674	170,674
	大学生の就職等に関する意識調査		2,495		
その他	年会費	500	500	500	500
	未来の京都創造研究事業	12,952	13,751		
	海外留学派遣プログラム開発支援事業	4,100	4,100		
	短期留学受入プログラム開発業務	2,200	3,000	3,000	3,000
	第14回世界歴史都市会議ユースフォーラム参加者派遣事業	450			
	大学地域連携創造・支援事業	5,062	4,548	5,026	6,500
	大学のまち京都・学生のまち京都推進会議	500	500	500	500
	「大学のまち京都」学生プロモーション		2,250	2,500	2,500
	大学の知を活かした多角的な市政研究事業			5,696	5,500
	「学まち連携大学」促進事業			18,989	31,000

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	・ 平成27年度に続き、平成28年度も黒字となっており、事業の選択と集中、業務の効率化による経費節減など、損益の改善に向けた取組の成果が認められる。
事業面	・ 「単位互換事業」や「インターンシップ事業」などのパイロット的事业において、着実に優れた成果を挙げている。また、本市との協働により、平成28年度新規事業である「学まち連携大学促進事業」や「大学の知を活かした多角的な市政研究事業」に取り組むなど、本市施策「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進に大きく寄与している。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 4期連続して当期正味財産増減額の黒字を続けており、損益面において事業整理の効果が出ている。
事業面	・ 事業の効率化を進めつつも、「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進に向けて、行政や大学等と連携した先進的な事業に積極的に取り組んでほしい。